

---

# 時よ止まれ

日淀 四季

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

時よ止まれ

### 【Z-コード】

Z9804Y

### 【作者名】

日淀 四季

### 【あらすじ】

何気なく思った、たわいのない、切なく祈った願い

(前書き)

2011年、11月29日に思つた何気ない事。

何気ない日常。朝起きて、学校に行つて、部活があるなら部活をやつて、そうして帰る何気ない日々。

朝は母親の声で目が覚め、しかしそまだ寝ていたい気分が残る。“ご飯”を食べて、時間割を整え、自転車に跨がって学校に向かう何気ない朝。

学校では特に珍しい事はない。無断で持ってきたPSPで音楽を聴いたり、それでもなれば本を読んだり、他人の会話を盗み聞きしたり、一日の予定を友達に聞いたりする。

休み時間もそれは変わらない。携帯をいじくったり、本を読んだり、眠かつたら寝て、前の時間に返ってきたテストの点数を盗み聞きして自分と比べたり。一喜一憂する毎日。

昼ご飯は友達と食べ、最近の事を話したり、テストが面倒だとぼやいたり、授業がわからないと愚痴つたり。何気ない学校生活。

学校が終われば部活動に勤しむ。何の為かは知らない。ただ上手くなりたいから、ただもつと上に行きたいから、そうでなくてもただ楽しいから。部活に来れば、学校ではない自分がいる。そんな何気ない放課後。

帰り道。いつもの生活、いつもの毎日、いつもの日常。なのに今日はなんだかいつもよりセンチになってしまって。いつもなんだか帰る時には胸に穴が空いた様な感じになる。それは朝学校に行く時には塞がっている。それがなんだかは知らない毎日。でも気づいてしまった今日の何気ない日常。

自転車を走らせながら考えてみた。何故に今日はこんなにセンチなのか、家に帰るのがこんなに切ないのか。勿論家は楽しい。毎日笑い、たまに怒られ、飼っている犬とじやれあい、兄とゲームをする。そう、毎日が楽しい。

今日はいつもより飼っている犬が愛しかった。頭を撫でたら思いっきり抱きしめてあげた。嫌がるのも当然だったが、離したくはなかった。

今日、一日の終わりに気づいた事。家に帰るのがセンチなのではなく、一日が終わる事が自分をセンチにさせているのだ。それに気づ

いた瞬間、涙がこぼれた。

あと何年いるかわからないこの家、この生活、この日常。毎日が楽しいならなおさら、この何気ない毎日が邊おしくなってしまった。

声を張り上げたかった。声に出して泣きたかった。誰かに聞こえなくとも、伝わらなくてもいい。今の気持ちを言葉にしたかった。

時よ  
止まれ

この毎日が楽しいと思える生活が終わって欲しくなくて思った何気ない でも叶わない願い。

心の整理がつかないまま、また今日も朝は来る。1年、365日、1ヶ月、1週間、1日、24時間、1時間、1分、1秒。今流れるこの時間、全てが終わりに近づいている。願つても、思つても、泣

しても、呂んでも止まる事はない時間。

やつて今日も向ぬない一歩を、ヤンチャになりながら廻り回してくる。

(後書き)

たまに思つてしまつてこんな事。時間が止まる事はないのに願つてしまつて、愚かな事。少しでもこんな事を伝えられたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9804y/>

---

時よ止まれ

2011年11月29日17時48分発行